



## 文化庁メディア芸術祭須賀川展「創造のライン、生のライン」 開催のご案内

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。本展はこの受賞作品を紹介する展覧会として2019年2月27日より須賀川市で開催します。

2019年1月11日に開館した須賀川市民交流センターetteの開館記念イベントとして、メディア芸術のお祭り（フェス）を開催します。メディア芸術の4部門（アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガ）から選りすぐりの作品を展示するほか、週末には作家によるトークやアニメーションの上映等のイベントも開きます。また、事前ワークショップを通して須賀川のみなさんが協力してつくったゲーム「スカガワ・モンスター」の発表も行います。「創造のライン、生のライン」というキーワードをヒントに展開されるテクノロジーとアートの饗宴を「あそぶように」体験しましょう！

### 開催概要

【会期】2019年2月27日（水）～3月17日（日）

【会場】須賀川市民交流センターette（福島県須賀川市中町4-1）

【開館時間】10:00～20:00（日・祝は18:00まで）

※火曜日は一部ご覧いただけない作品があります。

※5階円谷英二ミュージアムの展示のみ10:00～17:00

【観覧料】無料

【主催】文化庁

【共催】須賀川市

<お問い合わせ先>

文化庁メディア芸術祭須賀川展運営事務局（株式会社テレビマンユニオン内）

TEL：03-6418-8400（担当：杉本／田村）平日10時～18時

E-mail:lines\_sukagawa@tvu.co.jp

【後援】白河市／NHK 福島放送局／福島放送／テレビユー福島／福島テレビ  
福島中央テレビ／エフエム福島／ラジオ福島／福島民報社／福島民友新聞社  
マメタイムス社／阿武隈時報社

【協力】こぶろ須賀川

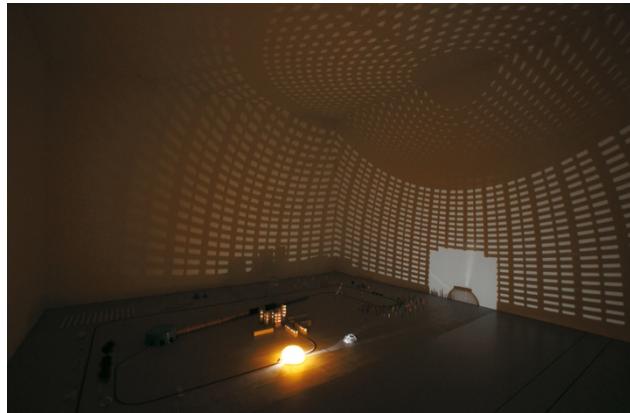
【企画運営】株式会社テレビマンユニオン

【公式サイト】<https://megei-sukagawa.info/>  
上映やイベント、ワークショップなどの申込み方法、タイムスケジュール  
は公式 Web サイトをご覧ください。

## 《展示企画》

### —「記憶と時間」のライン—

「記憶」について考えることは「時間」について考えることであり、「時間」について考えることは「記憶」について考えることになります。「記憶と時間」の不可分な関係性に思いを馳せる作品を紹介します。



『10番目の感傷（点・線・面）』

クワクボ リョウタ

© 2010 Ryota Kuwakubo

photo: KIOKU Keizophoto courtesy: NTT InterCommunication Center [ICC]



『HIMATSUBUSHI』

植木 秀治

© UEKI Hideharu

## —「紡がれる言葉」のライン—

「言葉」は並んでいるではありません。「言葉」は流れの中で紡がれていくものです。そうした「紡がれていく言葉」を表現した作品を紹介します。



### 『形骸化する言語』

菅野 創／やんツー

© 2016 So KANNO and Takahiro YAMAGUCHI

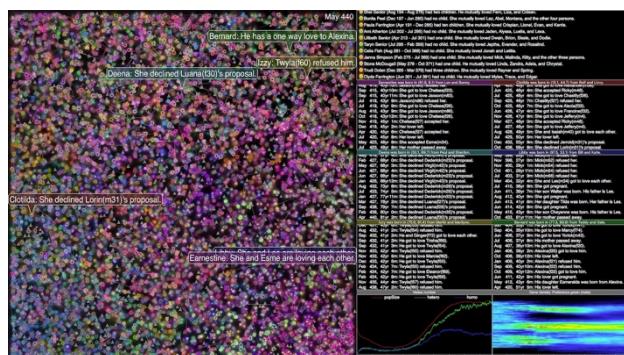
Photo: Kikuyama



### 『水準原点』

折笠 良

© Ryo ORIKASA



### 『進化する恋人たちの社会における高速伝記』

畠見 達夫/ダニエル・ビシグ

© 2017 Tatsuo Unemi and Daniel Bisig

## 一人間を超える「ポストヒューマン」のラインー

AIなどのテクノロジーは人間の役割を奪うのでしょうか？それとも人間を拡張するのでしょうか？テクノロジーや自然と人間との関係を問い合わせ直し、「ポストヒューマン」について想像する作品を紹介します。



### 『デジタルシャーマン・プロジェクト』

市原 えつこ

© Etsuko Ichihara

Photo: Masashi Kuroha

### 『PaintsChainer』

米辻 泰山

© 2017- Preferred Networks, inc.

## 《アニメーション×マンガ企画》

### —21世紀のモード「私たち」のライン—

アニメーションの流れを大きく変えた作品をご紹介します。『君の名は。』の上映会や、『この世界の片隅に』の片渕須直監督をお招きしての上映会&トークイベント、また『21世紀のアニメーションがわかる本』著者の土居伸彰氏セレクトによる短編アニメーションの上映会等を実施します。



#### 『君の名は。』

新海 誠

© 2016 TOHO CO., LTD. / CoMix Wave Films Inc. /KADOKAWA CORPORATION / East Japan Marketing & Communications, Inc. AMUSE INC./voque ting co., ltd. /Lawson HMV Entertainment, Inc.

#### ■関連イベント

##### 『君の名は。』オープニング上映

2019年3月2日（土）10:00～12:00

##### 『この世界の片隅に』上映+トーク

2019年3月10日（日）13:00～16:30

[ゲスト]

片渕 須直（アニメーション映画監督）



## 須賀川展スペシャルセレクト短編上映+トーク

2019年3月16日（土）14:00～16:30

[ゲスト]

土居 伸彰（「新千歳空港国際アニメーション映画祭」フェスティバル・ディレクター）

ひらのりょう（アニメーション作家）



土居 伸彰



ひらのりょう

## —2つの『この世界の片隅に』が描く「生」のライン—

「生」の悲しみやきらめきを描いたマンガ版（原作）と、普通の日常生活の機微を描こうとしたアニメーション版。ふたつの『この世界の片隅に』を、原画（複製）やスケッチなど、貴重な制作資料を通じて知ることができます。

※火曜日はお休みです。



© こうの史代/双葉社



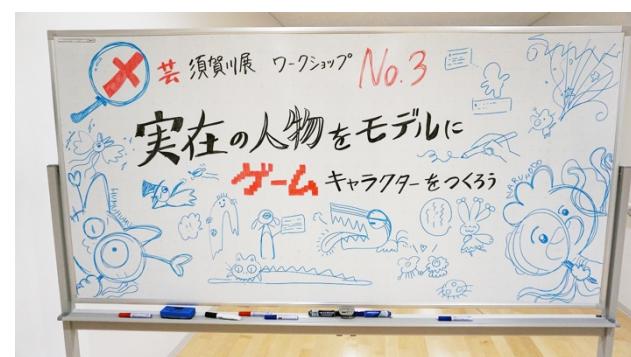
© Fumiyo Kouno/Futabasha  
Konosekai no katasumini Project

**《須賀川×メ芸企画》**  
**—特撮からメディア芸術をつなぐライン—**  
～円谷英二から未来の文化の担い手へ～  
須賀川市および、須賀川市民交流センターetteと協力し、特撮からメディア芸術祭へとつながる映像の歴史と今を紹介します。特撮の聖地である須賀川だからこそ実現する特別展示です。※火曜日はお休みです。

[マンガ・ライブラリー]  
**—モンスター・マンガの系譜というライン—**  
～円谷英二から未来の文化の担い手へ～  
「モンスター」をテーマにセレクトした作品など、文化庁メディア芸術祭受賞作品の中から選び抜かれたマンガ作品を自由にお読みいただけます。  
※火曜日はお休みです。

[「明治150年」連携企画]  
**—マンガやビジュアルで見る白河戊辰150周年—**  
白河市と協力し、白河戊辰150周年に関連したコンテンツの展示を行います。

[ワークショップ]  
これまで開催してきた事前ワークショップを、会期中も週末にetteで開催します。ワークショップの中でつくったゲーム『スカガワ・モンスター』の体験のほか、このゲームに関連した様々なプロジェクトを自分でつくってみるワークショップです。



## 須賀川市民交流センターtetteについて

東日本大震災によって甚大な被害を受けた福島県須賀川市では、震災復興の最重要課題として中心市街地の再生・活性化に取り組んできました。そして平成31年1月11日に、須賀川市民交流センターtetteが開館しました。tetteは「人を結び、まちをつなぎ、情報を発信する場の創造」を基本コンセプトとした多くの機能を有する複合施設であり、市民文化復興のシンボルとして、また中心市街地活性化の中核施設としての役割を担っていきます。



## 文化庁メディア芸術祭とは

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

第22回は、世界101の国と地域から4,384点に及ぶ作品の応募がありました。文化庁メディア芸術祭は多様化する現代の表現を見据える国際的なフェスティバルへと成長を続けています。



第21回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展の様子